

産業廃棄物処理計画書

大分県知事 廣瀬勝貞 殿

2012年6月13日

提出者 大分県日田市石井町3丁目793番1
 住所 TDK株式会社 三隈川工場
 氏名 工場長 福島 清人
 電話 0973-24-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第7項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、この書面を添えて提出します。

事業者の名称	TDK株式会社 三隈川工場				
事業場の所在地	大分県日田市石井町3丁目793番1				
事業の種類	【2999】電気機械器具製造業				
前年度の産業廃棄物発生量	(種類)	廃プラ	汚泥	がぶくず	その他 合計
	(発生量)	140.9	111.3	2.1	21.2 275.4
年度の目標	①産業廃棄物発生量	(種類)			
		(発生量) <別添I>			
	②自己直接再生利用量	<別添I>			
	③自己直接埋立処分又は海洋投入量	<別添I>			
	④自己中間処理量	<別添I>			
⑤自己中間処理残さ量	<別添I>				



⑥自己中間処理後再生利用量	<別添 I>	t
⑦自己中間処理後自己埋立処分又は海洋投入量	<別添 I>	t
⑧直接委託及び自己処理後委託処分量	<別添 I>	t
*事務処理欄		

備考

- 1 この様式は、前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに一枚作成し、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の4の4の基準に従って作成した産業廃棄物処理計画に添えて提出すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 4 「前年度の産業廃棄物発生量」の欄には、前年度に当該事業場において生じた産業廃棄物の種類及び種類ごとの発生量を記入すること。
- 5 「本年度の目標」の欄には、当該年度の産業廃棄物処理に関して①～⑧の欄のそれぞれに、(1)から(8)に掲げる量について、その目標量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じる産業廃棄物の種類及び種類ごとの発生量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、直接自ら再生量する量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、直接自ら最終処分場に埋立処分する量及び海洋投入処分する量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理する量
 - (5) ⑤欄 自ら中間処理を行った後の産業廃棄物の量
 - (6) ⑥欄 (5)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却する量
 - (7) ⑦欄 (5)の量のうち、自ら最終処分場に埋立処分する量及び海洋投入処分する量
 - (8) ⑧欄 (1)の量のうち、他人に委託して処理する量に、(5)の欄のうち他人に委託して処理する量を加えた量。
- 6 *欄には、何も記入しないこと。

産業廃棄物の発生量

①産業廃棄物	発生量の目標	a産業廃棄物等発生量	b有償物量	①産業廃棄物発生量(H23)	②自己直接再生利用量	③自己直接埋立処分又は海洋投入量	④自己中間処理量	C自己中間処理による減量	⑤自己中間処理残さ量	⑥自己中間処理後再生利用量	⑦自己中間処理後直接埋立処分又は海洋投入量	d自己中間処理後委託処分量	e直接委託処分量			⑧委託処分量		
													e=①-②-③-④			⑧=d+e		
													再生	中間処理(再生以外)	最終処分	再生	中間処理(再生以外)	最終処分
		a	b	①=a-b	-	-		c=④-⑤	-	-	-	d=⑤-⑥-⑦						
汚泥	グリストラップ等	111.3	0.0	111.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	111.3	0.0	0.0	111.3	0.0	0.0
廃油	潤滑油	221.0	221.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃プラ	樹脂	570.7	569.8	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0
廃プラ	腐テープ	131.6	0.0	131.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	131.6	0.0	0.0	131.6	0.0	0.0
廃プラ	粉塵廃プラ他	8.5	0.0	8.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.5	0.0	0.0	8.5	0.0	0.0
廃プラ	フィルター他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
紙くず	段ボール等	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
金属くず	鉄	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
木くず	パレット等	15.8	0.0	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.8	0.0	0.0	15.8	0.0	0.0
ガラスくず	ガラス瓶	1.4	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0
ガラスくず	蛍光管	0.6	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0
一廃		5.4	0.0	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4	0.0	0.0	5.4
小計		247.9	790.8	275.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	270.0	0.0	5.4	270.0	0.0	5.4
汚泥		111.3	0.0	111.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	111.3	0.0	0.0	111.3	0.0	0.0
廃油		221.0	221.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃プラ		710.8	569.8	140.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	140.9	0.0	0.0	140.9	0.0	0.0
紙くず		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
金属くず		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
木くず		15.8	0.0	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.8	0.0	0.0	15.8	0.0	0.0
ガラスくず		2.1	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
一廃		5.4	0.0	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4	0.0	0.0	5.4
産廃合計		1,066.2	790.8	275.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	270.0	0.0	5.4	270.0	0.0	5.4

②特別管理産業廃棄物の発生量

②特別管理産業廃棄物	発生量の目標	a産業廃棄物等発生量	b有償物量	①産業廃棄物発生量(H23)	②自己直接再生利用量	③自己直接埋立処分又は海洋投入量	④自己中間処理量	C自己中間処理による減量	⑤自己中間処理残さ量	⑥自己中間処理後再生利用量	⑦自己中間処理後直接埋立処分又は海洋投入量	d自己中間処理後委託処分量	e直接委託処分量			⑧委託処分量		
													e=①-②-③-④			⑧=d+e		
													再生	中間処理(再生以外)	最終処分	再生	中間処理(再生以外)	最終処分
廃酸	1.4	1.6	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0
廃油	含むレタン	1.2	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0
廃油合計		2.7	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0